

ガザ 死者7千人に

イスラエル、限定的越境作戦

イスラエル軍は26日、イスラム組織ハマスが実効支配するパレスチナ自治区ガザ地区北部で、地上戦など「次の段階の戦闘に向けた準備の一環」として、戦車などを使つた限定的な越境作戦を行つたと発表した。ガザでは封鎖による物資欠乏と激しい空爆が続く。ガザでは封鎖による物資欠乏と情勢への対応をめぐり国連安全保障理事会は機能しておらず、国連総会が26日から緊急特別会合を開き、即時停戦を促す決議案について議論する。

した映像では、境界線の塀を重機で破つた後、戦車など10両程度がガザ側へ侵入。砲撃や空爆を行つている。

ガザ空爆は激しさを増し、国連人道問題調整事務所（OCHA）は25

日、ガザ保健省の数字を引用し、同日午後6時まで24時間の死者数は7日の中止開始以来、最も多い756人だったと発表。26日時点の死者数は計7028人に達した。

ガザで人道危機が深まる中、国連安保理は25日、米国が提出した戦闘の「人道的な中断」を求める決議案を否決。常任理事国のロシアと中国が拒否権行使した。

26日からの総会では「即時停戦」を促す決議案を議論し、27日に採決する見通し。アラブ諸国

を代表してヨルダンが提案した。イスラエルやハマスを名指しで非難する文書は入れず、国際社会としての意思を示す狙いとみられるが、採択しても法的拘束力はない。

一方、バイデン米大統領は25日、イスラエルのネタニヤフ首相と電話で協議。パレスチナとの「恒久的和平への道筋」を考慮し、現在の危機が終わった後の地域の姿を考えるよう促した。ガザへの空爆を続けるイスラエルに過剰な対応だとの国際的な非難が出るなか、自国民の防衛は「國際人道法に合致した形」であるように注文をつけるなど、イスラエルに極端に肩入れする姿勢を弱めている。（エルサレム＝武石英史郎、ニューヨーク＝遠田亮生、ワシントン＝下司佳代子）

●米大統領がクギ

イスラエル軍の発表によると、越境作戦は26日未明に2～3時間実施した。「テロリストを攻撃し、対戦車攻撃用の陣地を破壊。作戦終了後に引き揚げた」という。公開